

無料セミナー

# EU新体制における EUのアニマルウェルフェア展望



# 10/31

TUE

18:00-19:30

登壇者 オルガ・キコウ博士 (Dr. Olga Kikou)  
動物の法律と政策のための欧州研究所 アドボカシーディレクター

開催挨拶 植木 美希 日本獣医生命科学大学  
名誉教授 AWFCJ 代表

開催日時 2024年10月31日(木) 日本時間 18:00-19:30

開催方法 Zoom ウェビナー

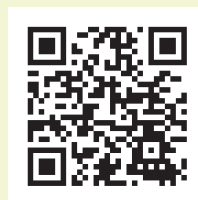
言語 日本語・英語(2言語で聴講可)

参加費用 無料

参加方法 peatix よりお申し込みください  
<https://awfcj-seminar2024.peatix.com>

主催 アニマルウェルフェアフードコミュニティジャパン  
<https://awfc.jp/>

お問い合わせ [awfcj.info@gmail.com](mailto:awfcj.info@gmail.com)



申し込みQR

## EUの“End the Cage Age”その後を知る — 市民の声で畜産はどう変わるのか —



### 日本はどうするのか一緒に考えませんか？

#### 21世紀EU畜産の大きな転換点

ITの普及、AIの進化、DX、電気自動車への移行、脱炭素など、21世紀は目まぐるしい変化の時代を迎えています。EUでは、畜産においても一世代に一度経験するかしないかと言われる大きな改革が進められています。

#### 畜産農業とプラネタリーヘルスの関係

畜産農業とプラネタリーヘルスの関係が、ますます重要度を増しています。世界銀行の「生活できる地球のためのレシピ(2024年5月発行)」では、動物性食品は農業関連の排出量のほぼ60%を占め、現在の食生活から動物性食品を除いた食生活に移行すると、土地利用を76%、温室効果ガス排出を49%、酸性化を50%、富栄養化を49%、淡水の取水を19%削減できる可能性があるとしています。

#### End the Cage Age(ECA) 法案

2023年にはアニマルウェルフェアは経済開発協力機構(OECD)のガイドラインにも入りました。そんな中、EU市民140万人の有効投票を獲得した、EUの家畜をアニマルウェルフェアを進めるEnd the Cage Age(ECA)法案は、結果として2023年に法案提出されずに終わりました。期待していたこの法案の現状、今後の展望はどのようになっているのでしょうか。

#### オルガ・キコウ博士に聞く

本ウェビナーでは、前職のCompassion in World Farmingにご勤務の時に、“End the Cage Age”の法案提案まで導いたオルガ・キコウ



博士(Dr. Olga Kikou)にブリュッセルからご登壇いただき、ECAの将来、EUの最新のアニマルウェルフェアの動きをお話いただきます。オルガ氏は現在はThe European Institute for Animal Law and Policy、アドボカシーディレクターを務めています。

※“End the Cage Age”では下記を禁止する立法の提案をEU委員会に求めていました。

- ・ケージ(採卵鶏、ウサギ、卵用雌雛、肉用種鶏、卵用種鶏、ウズラ、フォアグラ用アヒルやガチョウ)
- ・母豚用の分娩クレート
- ・母豚のストール(まだ禁止されていないところでは)
- ・乳用の子牛を単独飼育する小屋(まだ禁止されていないところでは)